

児童朝会 校長の話 12月5日

先週の朝会で、人が人として生きていくために守らなくてはならないものとして「安心して生きる」「自信をもって生きる」「自由に生きる」というお話をしました。大人も子供も、世界

**人が人として  
生きていくために  
守られなくては  
ならないもの**

中どこの国の人でも、障害があってもなくても、全ての人が「人が人として生きていくために守らなくてはならないもの」があります。このことを「人権」と言います。人の権利です。

12月10日は世界中で「人権の日」と決められています。そして今週の1週間は「人権週間」です。自分の人権、そしてみんなの人権が守られているか。自分は安心して自信をもって生活できているか。差別や仲間はずれをされている人はいないか。嫌な思いや悲しい思いをしている人はいないか。振り返ったり確認したりしてお互いに人権を大切にしていましようという1週間です。

どうして12月10日が「人権の日」になったかということ、今から80年くらい前、世界は大きな戦争をしていました。日本もしていました。たくさんの人が殺されたり、人種や民族が違うからといって迫害されたり虐殺されたりしていました。そこで国際連合が「世界中どこの国であっても、全ての人の人権が守られなくてはならない」と12月10日に「世界人権宣言」をしました。今から74年前です。それから毎年12月10日は人権の日として、人権を大切にしてきました。

人権についての素敵な詩があるので紹介します。「種をまこう」です

### 種をまこう

種をまこう 種をまこう  
ところの中に種をまこう  
わたしのところあなたのところ  
みんなのところに種をまこう

生まれたばかりの  
やわらかいところに  
人権という名の  
種をまこう  
そして

「思いやり」  
という名の水と  
「愛」という名の栄養を  
たっぷりたっぷり  
そそいであげよう

みんなの  
「笑顔」という名の  
陽をあびて  
きっと  
芽が出る 花が咲く

やがて  
大きな  
幸せの実が  
みのる

人権の種を心にまきます。そして思いやりや愛によって種は芽を出します。花を咲かせ、  
幸せという実をみのらせます。

どうぞ皆さん、自分の心に友達の心に人権の種をまいてください。